

平成31年度 学校経営方針

熊谷市立星宮小学校

新井 麻起

『家庭・地域との連携』 【チーム星宮小】 『専門機関との連携』

1 学校教育目標

自らとともに
○多くを学び ○心をみがき ○体をきたえる子

〈目指す児童像〉

多くを学び

- ・人の話をよく聞き、自分の考えをもち、発表する子
- ・課題や疑問を見つけ、考え、学び続ける子
- ・常に目標をもち、ねばり強く取り組む子

心をみがき

- 自らとともに
- ・仲良く助け合い、協力する子
 - ・明るく礼儀正しく、相手をいたわる行動ができる子
 - ・生活の中でのルールを守り、社会の一員として責任をもてる子

体をきたえる子

- ・進んで運動や外遊びをする子
- ・苦しいことに負けず、やりぬく子
- ・規則正しく、安全に気をつけて生活できる子

キャッチフレーズ

『よく学び・仲良く遊ぶ
元気な学校』

〈目指す学校像〉

- 子どもが喜んで登校する学校
 - ・児童が真剣に学習や行事に取り組み、充実感の味わえる学校
 - ・明るいあいさつと歌声が響き、児童・教職員が生き生きとした元気な学校
- 安心・安全で清潔な学校
 - ・静かで施設・設備が整備され、清掃の行き届いた学校
 - ・いじめがなく、一人一人が認められる学校
- 保護者・地域に信頼される学校
 - ・学校の教育活動の積極的な公開と発信をする学校
 - ・保護者・地域等と連携・協働し、一体となって教育活動を推進する学校

〈目指す教師像〉

- 学ぶ喜び、分かる喜びを味わわせる教師
 - ・教育に対する情熱と使命感をもち、児童の深い学びを追求するため、教材研究を続ける教師
 - ・幅広い教養と専門的な知識・技能を備え、教えるだけでなく児童に学び方を指導する教師
- 子どもの個性を大切に、伸ばせる教師
 - ・一人一人の児童に真剣に向き合うと共に、心に寄り添い、「自己有用感」を育てる教師
 - ・児童の気持ちや資質能力を的確に捉え、努力や良さを認め、個をのばす教師
- 子どもや保護者に信頼される教師
 - ・心身ともに健康で常に向上心をもち、明るく積極的に自らの「人間性」を磨き続ける教師
 - ・社会人としての常識や倫理観をもち、謙虚な姿勢で丁寧な言葉や立ち居振る舞いを身に付けた教師

○ 3つの壁の打破

これまでと同じでよいという・・・「惰性の壁」

新しいことを取り組むのは大変だという・・・「大変の壁」

こんなことをするのは無理だという・・・「あきらめの壁」

○現状に満足せず、常に進化するための挑戦する気持ちを持って！

2 学校経営方針

〈教育理念〉

子どもたちは、日本の未来を担う宝である。そして、教育は子どもたち一人一人のよさや個性をしっかりと見つけ、それを最大限に伸ばすことである

↓
そのために

子どものことを第一に考え、家庭・地域に信頼された開かれた学校を目指す。
一つひとつの教育活動が「子どものためになっているか」を基準として取り組んでいく。

- (1) 知・徳・体の調和のとれた教育を目指し、学力・体力の向上、思いやりや規律を守る児童の育成に努める。
- (2) 教職員の英知と総力を結集し、保護者・地域と連携し、創意を生かした特色ある学校づくりに努める。
- (3) 開かれた学校づくりに努め、保護者・地域・専門機関等と共に育む学校をつくる。
- (4) 全教職員の共通理解のもと、個々の「よさ」を生かし、丁寧な指導に努め、児童の「やる気」を育て、自ら挑戦する児童の育成に努める。
- (5) 清潔で安全な環境づくりと、いじめを絶対に許さない校風をつくる。また、いざというときは、全員で素早く動く。

学校課題研究

〈学校教育目標の具現化〉

○ 自らともに多くを学ぶ

- ① 学習指導の充実と基礎的・基本的な学力の定着
 - ・一人一人の学習状況を的確に把握し、読み・書き・計算の確実な定着を図る。（「くまなびスクール」の充実、個人指導カードの活用〈分るまで教える〉）
 - ・「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」の推進
 - ・学習規律（「星宮小スタンダード」「教師の一日」）の徹底を図る。
 - ・全国及び埼玉県学力学習状況調査等の検証に基づいた「テストで学ぶ」学習の推進。
- ② 確かな学力と学び方を学ぶ「主体的・対話的で深い学び」の授業の充実を図る。
 - ・ICTや思考ツール等を効果的に活用した子どもが主役の授業の充実を図る。
 - ・児童が探求的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習の充実を図る。
 - ・地域の環境や伝統を生かした学習の充実を図る。
- ③ 家庭と連携した教育の定着を図る。
 - ・学習規律・学習ルール（「星宮小スタンダード」「ゲー・ペタ・ピン」）の徹底を図る。
 - ・読書活動の充実（低学年100冊、中学年2000ページ、高学年4000ページ以上）
 - ・家庭と連携した家庭学習の定着（15分かける学年プラス10分）

○ 自ら ともに心のみがく

① 学級経営の充実

- ・児童理解に徹し、よさと可能性を伸ばす。
- ・温かさと新鮮味のある教室環境を創る。
- ・学習規律・生活ルール・授業ルール（「星宮小スタンダード」「教師の一日」）の徹底を図る。
- ・学校と心を磨く清掃活動の充実を図る。（ひざつき無言清掃）
- ・不登校児童を生まない、積極的指導（自己有用感を育むと共に「2日まで電話3日で家庭訪問」）を推進する。

② 人権教育の充実

- ・「考え・議論する道徳」の授業を実践する。
- ・人権週間の充実（「いじめ撲滅宣言」「人権感覚プログラム」「ソーシャルスキルトレーニング」等の推進）
- ・実践の場としての縦割り活動の交流を推進する。
- ・相手の立場になって考え行動できる児童を育成する。
- ・全教育活動を通して、思いやりのある心、いじめや差別を許さない心を育てる。

③ 生徒指導の充実

- ・教育相談的な対応による児童理解の充実を図る。
- ・家庭、地域と連携して、「熊谷の子どもたちは、これができます」4つの実践・3減運動及び、あいさつの徹底を図る。
- ・いじめのない楽しく豊かな学校生活の実現を図ると共に、早期発見と迅速且つ適切な対応と見届けを確実に行う。
- ・「報告・連絡・相談」に基づく共通理解と共通行動（いざ、というときに全員で素早く動く。）による実践及び指導体制の確立を図る。

④ 特別支援教育の充実

- ・インクルーシブ教育の推進を図る。
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する。
- ・発達障害のある児童を全校で支援する体制づくりを図る。

○ 自ら ともに体をきたえる

① 体力向上の推進

- ・運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育授業や体育活動の充実を図る。
- ・一日の身体活動を確保する。（おはようマラソン、業前活動、外遊びの工夫）
- ・授業導入時の単元に適した慣れの運動を実施する。
- ・新体力テストの各項目でA+Bが90%以上達成する。

② 健康教育の充実

- ・食育の推進と給食指導の充実を図る。
- ・アレルギー児童への「給食時のマニュアル」による確認の徹底を行う。
- ・保健指導の充実と健康管理の徹底を図る。

③ 安全教育の徹底

- ・様々な災害等を想定した防災・危機管理教育を推進する。（年10回以上）
- ・校内施設の日常点検、教師と保護者による定期点検により、早期修繕に努める。
- ・潜在危険の発見と除去を図る。（瑕疵による事故を起こさない。）

熊谷の一番小さな学校を、日本で一番の学校に！

